

**2026年度 第105回全国高等学校サッカー選手権大会釧根地区予選  
兼 第49回本田杯争奪高校サッカー大会  
開催要項**

- 1 主 旨 日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)年代のサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、高体連加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。
- 2 名 称 2026年度 第105回全国高等学校サッカー選手権大会釧根地区予選 兼 第49回本田杯争奪高校サッカー大会
- 3 主 催 釧路地区サッカー協会、根室地区サッカー協会
- 4 共 催 北海道高等学校体育連盟釧根支部
- 5 期 日・会 場 令和8年 8月22日(土) 1回戦 会場:阿寒町多目的広場  
8月23日(日) 準決勝 会場:阿寒町多目的広場  
8月29日(土) 決 勝 会場:阿寒町多目的広場  
8月30日(日) 予備日 会場:阿寒町多目的広場
- 6 参 加 資 格 (1) 2026年度(公財)日本サッカー協会に加盟登録された高等学校チームで、当該団体に登録された生徒であること。  
(2) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。  
(3) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒であること。  
(4) 「高体連主催大会参加者災害補償制度」に加入した者。または、加入の意志のある者。  
(5) 平成19年(2007年)4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技会3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。  
(6) チームの編成においては、全日制課程・通信制課程・定時制課程の生徒による混成および男女混成は認めない。  
(7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(8) 部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。  
(9) ① 転校後6ヶ月未満の者(地区予選日計算)は参加できない(外国人留学生もこれに準じる)。  
ただし、一家転住等によりやむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。  
② 転校を伴わなくても他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記①に準じるものとする。  
ただし、この規定②の適用は当該年度内に限るものとする。  
(10) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。  
(11) 各チームの登録選手は、原則として選手証(写真貼付したもの)を試合会場に持参すること。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認める。  
(12) 外国人留学生の登録は4名までとし、試合出場は2名までとする。  
(13) 参加資格の特例  
① 本条(2)、(3)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、北海道高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。  
② 上記(5)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技会3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。
- 7 チーム編成 (1) 参加チームの人員は、監督(1名)、引率教員(1名)、マネージャー(2名以内)、及び選手(30名以内)とする。なお、引率教員は当該校教員、監督は学校長の認めた教職員とする。  
(2) 合同チームによる参加は以下の通りとする。  
1 大会参加を認める条件  
① 本大会要項【6 参加資格】を満たしていること。  
② 一方のチームが、日本協会登録人数が11人未満で、かつ単独での参加が困難な学校により編成されたチームであること。  
③ 学校が同一地区内にあり、地理的に隣接していること。  
④ 合同チームによる練習が、計画的・継続的に実施されていること。  
⑤ 各校の学校長が申請し、道専門部より承認を得ていること。  
⑥ 各校の教員により引率されること。(代表責任者をおくこと)  
2 その他  
① チーム名は合同チームを編成する学校で決定する。ただし、各校名がはっきりわかるものとする。
- 8 競 技 規 則 (1) 2026年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。  
(2) 大会参加申込みをした最大30名のうち、各試合毎の登録は20名以下とし、最大9名を交代要員として登録できる。登録された交代要員のうち、5名までの交代が認められる。  
(3) 交代要員9名と登録されたスタッフ5名(どちらも最大数)がベンチ入りできる。  
(4) 交代回数制限について  
① 選手交代は、交代回数を前半、後半合わせて3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)  
② ハーフタイム、延長戦に入る前のインターバルおよび延長戦のハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。  
③ 延長戦が行われる場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる。(直前の80分間と合わせて、最大6名かつ4回の交代が可能となる)  
(5) 脳振盪またはその疑いのある選手が発生した場合の取り扱いは、次のとおりとする。

- ① 本項に基づく選手の交代は、前項に定める交代人数および交代回数に含まれない。ただし、人数は1名に限るものとする。
- ② 本項に基づく選手の交代が使われたならば、相手チームは、(脳振盪に限らず)いかなる理由であっても1人の「追加の交代要員」を使うことができ、1回の「追加の交代」の機会を得る。
- 9 競技方法 (1) トーナメント方式により釧路地区代表チームを1校決定する。  
(2) 試合時間は80分(40分ハーフ)とし、ハーフタイムのインターバルは、原則として10分とする。勝敗が決しない場合はPK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦進出校を決定する。  
(3) 決勝戦(代表決定戦)のみ勝敗が決しない場合は20分間(10分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦(ペナルティーシュートアウト)により優勝校(代表校)を決定する。  
(4) 不測の事態により出場辞退するチームがあった場合、対戦校を3-0の不戦勝とする。
- 10 引率責任者および監督 引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の認めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一の場合は教員とする。学校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。
- 11 大会参加料 大会参加料12,000円 ※監督主将会議時に納入すること。
- 12 参加申込 (1) 参加申込書に登録できる人員は、引率教員1名、監督1名、選手30名、マネージャー2名、前述の選手を除く4名以外に6名のスタッフを登録することができる。  
(2) 参加チームは所定の申込書を作成し、下記申込先まで期日厳守で手続をすること。  
(3) 参加申込書の位置(ポジション)については、GK・DF・MF・FWの用語を使って記入すること。
- 申込先 〒085-0814 釧路市緑ヶ岡1丁目11番8号 北海道釧路北陽高等学校内  
釧路地区サッカー協会2種委員会 高橋 健太 宛  
TEL 0154-41-4401 FAX 0154-41-0344  
e-mail kenta1021@hokkaido-c.ed.jp
- 申込締切期日 令和8年8月10日(月)
- 13 選手変更 登録選手の変更は3名以内とし、所定の変更届用紙に必要事項を記入し8月14日(金)必着で上記申込先に郵送または持参すること。(仮変更としてメールも可。)
- 14 ユニフォーム (1) ユニフォームは正副2色(シャツ・ショーツ・ソックス、FP・GK用共)を参加申込の際に記載し、各試合必ず携行すること。  
(2) 選手番号については、1番～30番までとする。  
(3) チームのユニフォーム(ゴールキーパーを含む)のうちシャツの迷彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならぬ。  
(4) シャツの前面・背面に選手番号を付けること。ショーツの番号については付けることが望ましい。  
(5) ユニフォームの色、選手番号の参加申込み以後の変更は認めない。  
(6) ユニフォーム広告については、高等学校体育連盟の規則により禁止する。  
(7) ユニフォームに他のチーム(各国代表、クラブチーム等)のエンブレム等がついているものは着用できない。  
(8) 縞のユニフォームは、識別が困難な場合のみ選手番号に台地を付けるものとする。  
(9) その他については(公財)日本サッカー協会の定める「ユニフォーム規定」を遵守すること。  
(10) チームキャプテンは、アームバンドを着用しなければならない。単色のアームバンド。それには、「キャプテン」という単語、もしくは「C」という文字やその翻訳された単語・文字も入れることができるが、単色でなければならない。なお、キャプテンは、スローガン、メッセージ、イメージおよび広告に関しては、(公財)日本サッカー協会のユニフォーム規程に一致したシンプルなアームバンドを着用しなければならない。
- 15 マッチウェルフェアオフィサー 決勝戦(代表決定戦)において配置する。
- 16 懲罰 (1) 本大会は、(公財)日本サッカー協会「懲罰規定」に則り、大会規律委員会を設ける。  
(2) 規律委員会の委員長は高体連支部専門委員とし、委員については委員長が決定する。  
(3) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、次の1試合に出場できない。  
(4) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。  
(5) 本実施要項に記載事項のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。  
(6) 本大会と選手権大会北海道大会は懲罰規定上の同一大会競技会とみなし、本大会終了時点での退場・退席による未消化の出場停止処分は選手権大会北海道大会において順次消化する。
- 17 監督主将会議 (1) 日時 令和8年8月15日(土) 13:00～  
(2) 場所 北海道釧路北陽高等学校 会議室
- 18 組合せ抽選会 (1) 日時、及び場所については【17 監督主将会議 (1)、(2)】と同様である。  
(2) 選手権大会地区予選、ユース新人大会、当該年度高体連支部予選におけるポイント獲得上位4校をシードとする。
- 19 その他 (1) 各試合の前に代表者ミーティング(MCM: マッチコーディネーションミーティング)を実施する。  
①各試合の競技開始60分前に所定の場所で実施する。  
②両チームのユニフォームを決定する。(ユニフォームの正副一式を持参すること)  
③「選手証」および「メンバー提出用紙」を提出すること。(ユニフォームカラーは未記入のこと)  
④諸注意事項の説明等を行う。  
(2) 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、地区2種委員会事務局にて協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。  
(3) 優勝チームには「第105回全国高等学校サッカー選手権大会北海道大会」への出場を義務づける。  
(4) その他の事項等については北海道大会開催要項に準ずる。